

【沿革】

昭和 39年 (1964年) 10月	神奈川県商工部公害課に検査測定係を設置
43年 (1968年) 4月	横浜市南区に「公害センター」を新設
45年 (1970年) 10月	川崎支所、湘南支所を設置
47年 (1972年) 5月	横浜市旭区に本所の新庁舎を建設、業務開始
平成 3年 (1991年) 4月	現在地に庁舎を新設移転し、「環境科学センター」としてスタート
13年 (2001年) 3月	ダイオキシン分析施設を設置
14年 (2002年) 1月	実習室を整備
31年 (2019年) 4月	「神奈川県気候変動適応センター」を設置
令和 元年 (2019年) 8月	自由見学エリアを整備

【施設案内】

●自由見学エリア

庁舎1階の一部を自由見学エリアとして一般開放しています。当センターで取り組んでいる研究テーマに関する展示を見学できます。(申込不要)

●貸出施設

庁舎1階の環境学習室、実習室の貸出を行っています。環境保全活動や環境学習を行う県民の方が利用できます。(要申込)

環境学習室

講習会等に利用できます。映像装置の使用が可能です。

実習室

簡易な実験や実習ができます。



自由見学エリア



▲環境学習室

▲実習室

【アクセス】

- JR平塚駅北口からバス約10分
5番乗り場から 平51・52・60・61系統
6番乗り場から 平50・53・54・57系統
「古河電工入口」下車 徒歩5分
4番乗り場から 平67系統
「西八幡」下車 徒歩2分
- 小田急線 本厚木駅南口からバス約35分
南口出口正面(小田急ステーションホテル入口前)
13番乗り場から
旭町経由平塚駅行き平53、54、57系統で
「古河電工入口」下車 徒歩5分



神奈川県環境科学センターでは、良好な環境を継承する科学技術拠点として、次世代につなぐ、いのち輝く環境づくりをめざします。



調査研究

担当：調査研究部

環境問題の実態解明に向けた研究や環境保全に係る調査研究、アスベスト、地下水、土壌汚染等の調査を行っています。

◆主な業務内容と研究テーマ

- 相模湾沿岸域におけるマイクロプラスチック汚染に関する調査研究
- PM2.5に関する調査研究 ・環境DNAを用いた生物調査研究
- 丹沢ブナ林再生に関する研究
- ダイオキシン類やPRTR法対象物質などの化学物質調査
- 工場・事業所・廃棄物処理施設等における調査
- アスベストに関する調査 ・水質事故・苦情等対応調査
- 地下水、土壌汚染、悪臭に関する調査・指導

調査研究成果・
課題一覧

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/cyousakenkyu/cyousakenkyu.html>



▲マイクロプラスチック



▲丹沢 ブナ林



▲電子顕微鏡室



▲試料の分析

環境監視

担当：環境監視情報課

大気汚染や水質汚濁等の環境監視、騒音や振動に係る調査、光化学スモッグ注意報の発令や情報提供を行っています。

◆主な業務内容

- 大気汚染や水質汚濁の環境監視・調査
- 騒音や振動の調査・研究
- 県民、工場、県内の市町村等への光化学スモッグ注意報の発令やPM2.5高濃度予報
- 監視結果や化学物質情報等のインターネット等を用いた県民への情報提供

大気汚染常時監視測定結果

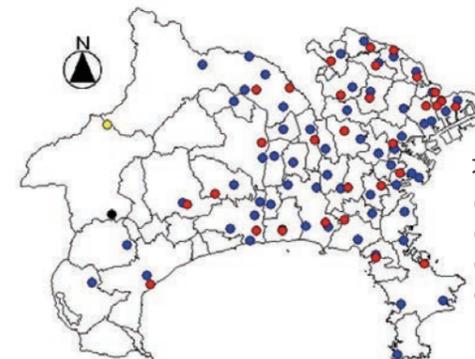
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/taikikanshi/kanshi/realtime/index.html>



▲大気汚染測定局の例

測定中の
監視データを収集

▲環境監視室



- 大気汚染測定局
- 一般環境大気測定局
 - 自動車排出ガス測定局
 - 移動測定局
 - 研究用測定局

騒音調査



環境学習支援

担当：環境活動推進課

環境学習に係る企画、環境活動支援、環境保全に係る人材育成を行っています。

◆主な業務内容

- 環境学習室、実習室、観察・測定教材や映像教材などの貸出
- 環境学習用資料や講師情報の提供
- 環境学習リーダー養成講座、出前講座等の講座開催
- 施設公開等の実施
- 自由見学エリアの運営

環境学習に関する情報
が載っています



かながわ環境学習ナビ



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kannkyougakushu/index.html>

貸出教材の例



- ▲環境メーター
- ▲マイクロプラスチック採取セット
- ▲騒音計
- ▲二酸化炭素濃度計



▲実習室での環境学習



▲施設公開(無響室)